

第 11 章 史跡の保存活用に向けて

多田銀銅山遺跡を適切に保存活用していくため、保存管理および現状変更の取り扱いを行いながら、史跡の周知を図るとともに学習の場としての活用方法について模索する。

また、整備については、保存を確実にするための整備を優先に実施するとともに、その具体的な内容については整備基本計画において年次計画を立案し、計画的に実施する。

今後は、史跡をまちづくりの重要な資産として保存活用し、猪名川町の特性を活かした地域づくりに向け、庁内の関係部署はもとより所有者等と猪名川町、地域住民、関係団体等の協力・連携による管理運営体制の構築のための条件整備、および管理運営の協力体制と組織づくりを行う。



写真 274 銀山地区での再現実験(平成 29 年[2017] 2 月 25 日「金属を溶かしてみよう」)